

「高齢者を取り巻く地域力の可能性と限界」 ～孤独死防止対策から見えるもの～

一人暮らしの高齢者が増加し、介護保険への期待がますます膨らんでいます。しかし、団塊の世代が高齢者の仲間入りする時代を前に、政府は保険財政の厳しさを理由に介護保険の改革を行うとし、要支援の部分を介護保険から除外し、自治体の事業に切り離すなどサービスの低下に繋がる施策を行おうとしています。厳しい財政事情を抱える地方自治体にどれだけの事業が展開できるのか大きな問題になっています。

今回の講演会は社会保障の第一人者でメディアでの情報発信を続けている淑徳大学の結城康博先生をお招きして高齢者の独り暮らし問題、介護保険改革そして、地域でどのよう

に取り組むべきかなどについて講演をしていただきます。先生は介護の現場で働いた経験をもとに、現場からの声を国の施策に反映させようと社会保障審議会などで発言しています。研究生活に進んだ後も全国の福祉の現場を回って研究成果につなげています。今講演では、国の介護保険の動向など現場からの状況報告も含めてお話をいただけることとなります。なお、講演終了後、千葉の地で高齢者支援に関わる介護保険事業所の経営者、ケアマネージャーの方々との対談を行う予定にしています。関係する皆様の奮ってのご参加を要請いたします。

[資料代 500円 会員無料]

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2014年2月15日(土) 14:30～
- 会場：千葉県教育会館本館203会議室
千葉市中央区中央4-13-10

＜講演 講師紹介＞

結城 康博 (ゆうき やすひろ)
＜現職＞淑徳大学総合福祉学部教授
＜略歴＞淑徳大学社会福祉学部卒業、法政大学大学院修了、東京都北区・新宿区に勤務(介護関係の仕事に従事)、2007年より淑徳大学准教授、2013年教授、2013年から社会保障審議会介護保険部会委員(再任)
＜専攻＞社会保障論、社会福祉学
＜著書＞『介護—現場から検証—』『医療の値段—診療報酬と政治—(とも岩波新書)、『日本の介護システム』(岩波書店)



★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆2月7日(金)までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連 合 千 葉